

# わかくさ

第22号

発行 秋田市少年指導センター

〒010-8506 秋田市東通仲町4番1号 電話 018(884)3869

(秋田拠点センターアルヴェ5F)

編集 秋田市少年指導委員 広報部会

## 令和7年度 秋田市少年指導センターの活動

少年指導委員は各地区や小・中学校のPTAからの推薦と公募により採用された方々が、秋田市長よりボランティアとして委嘱されています。任期は2年で、青少年の健全育成と非行防止を目的として、現在は第30期の264名の指導委員が活動しています。

主な活動として、秋田駅周辺の定例巡回や観桜会、竿燈まつり、地域の行事等における特別巡回や地区巡回を行っています。今年度は12月末まで、定例巡回26回、特別巡回10回、地区巡回を39回実施しており、のべ536人の指導委員が巡回に参加しています。今年度は、ハロウィンやクリスマススイブの日に定例巡回を実施したり、冬期の夜の巡回時間を早めたりして、工夫をしながら行いました。ハロウィンにはハロウィン仕様の広報物を配布しました。

巡回以外の主な事業として、運営協議会と地区代表者会議を年2回実施しました。また、7月には「社会を明るくする運動」のキャンペーン活動として、保護司の皆様と一緒に各サービスタウンを訪問しました。10月には「少年育成団体情報交換会」を開催し、警察署からの情報提供を受けて情報交換を行いました。11月には「秋のこどもまんなか月間」のキャンペーンを各地区で実施し、あいさつ運動やキャンペーングッズの配布などの活動を行いました。さて、来年度は指導委員の委嘱替えとなります。青少年の健全育成のために、変わらぬご協力をよろしくお願いたします。

第1回地区代表者会議



## 少年指導委員研修会

11月18日(火)にアルヴェにおいて、秋田市少年指導委員研修会を開催しました。秋田県警察本部人身安全対策課少年サポートセンター長の「大島ヒロ子氏より、「最新! 青少年のネット犯罪被害について」と題して、少年非行の現状やスマホやネットにひそむ危険、若者たちが日常的に口にして言っている言葉などについて話をいただきました。

「今年度の不良行為少年の補導は、昨年度より増加傾向にあり、深夜はいか、粗暴行為が増加しています。粗暴行為では、小・中学生がゲームをやめられず親に注意され、スマホや断がでなくなつた子どもが、家庭内暴力をふるうケースが多く、家の中で、直接会話をせず、ラインでやり取りしている親子もいます。子どもが部屋の中で何をしているか分からない親も多く、子どもが裸の写真を知らない人に送り性被害に遭うケースもありました。」

ということでした。便利なスマホ、インターネットやSNS等を安全で安心して使うためには、子どもたちに規範性を身に付けさせなければいけないこと、少年の健全育成のためには、警察、少年指導委員、PTA、町内会などの他機関連携を大事にしていかなければいけないこと、未来のある秋田の子どもたちに関わっている様々な機関が、力を合わせ、切れ目なくつながりを持ち続けていくことが大事であるとお話してくださいました。たいへん有意義な時間を過ごすことができました。



### 学校の特色ある健全育成活動

#### 心をつなぎ 夢をはぐくむ



秋田市立中通小学校  
教頭 石井 良征

本校は、秋田市の中心市街地に位置し、様々な公共施設や商業施設に徒歩で行くことができ、この恵まれた環境の中で、「心をつなぎ」教育活動を推進しています。子どもと子どもが「心をつなぎ」ために、行っている活動の一つが、全校縦割りで行う「友達グループ活動」です。本校ではこの活動を「常時活動」にし、毎日の清掃活動や友達グループで行うようにしました。清掃の時間には、高学年がリーダーとなり下の学年にアドバイスし、低・中学年は上の学年を見習って活動する姿が校内のあちこちで見られています。

本校の自慢は「歌声」です。毎朝、各学級からさわやかな歌声が響いてきますし、音楽部がリーダーとなつて様々な場面で活躍しています。この「歌声」を、子どもと教職員、子どもと地域が「心をつなぎ」ために生かそうと、今年度は、学習発表会をアトリオン音楽ホールで開催し、仲間や先生と心をつないだ「ハルモニ」を、保護者や地域の皆さまに披露することができました。また、音楽部は、地域の祭りに参加し、Nコン東北大会で歌った合唱曲や秋田県民歌を披露し、大いに喜ばれました。介護事業所や幼稚園などの施設も訪問し、学校と地域をつないでいきます。

今後子どもたちが、仲間や先生、地域の方々との関わりを通して心をつなぎ、未来への夢を育んでいけるように、「人・ものを大切にした教育を推進していきます」。



### あいさつ満点！努力満点！協力満点！ 心をひとつに勝平っ子

秋田市立勝平小学校  
教頭 小熊 理樹

令和7年度は、本校創立56年目にあたります。学校は、新屋地区北部「勝平山」に位置し、校舎の西側には江戸時代の賢人栗田定之丞がつくった砂防林が広がっています。勝平幼稚園や保育園、勝平中学校、秋田商業高校などが隣接し、幼保小中高を一貫した教育の推進に取り組んでいます。

さらに、地域には子どもを支えるための青少年健全育成連絡協議会があり、地域ぐるみで子どもたちの健全育成に力を注いでいます。防犯パトロールや朝の挨拶運動、地域の行事やお祭りの巡回、小学校卒業児童への反射材付バッグの贈呈等を行っています。このような、温かな見守りのおかげで、子どもは安心して生活を送っています。

学校でも安心して楽しい生活を送ることができるように、昨年度、児童会が中心となり「なかよし合言葉」を作成しました。今年度は、合言葉が全校に浸透するように、集会の開催、放送での呼びかけをしています。また、合言葉にある「ふわふわ言葉」について各学級で話し合うなどして、合言葉への意識が高まるような工夫もしています。

タイトルにある言葉は、今年度の児童会のスローガンです。スローガンのように、これからも学校・地域・家庭が心をひとつにして歩みを進めていきたいと思います。

勝平小学校「なかよし合言葉」

- 1 「友達となかよししよう」
- 2 「やさしい行動をしよう」
- 3 「ふわふわ言葉を使おう」
- 4 「自分から友達に声をかけてみよう」
- 5 「困ったことがあったらすぐに話そう」



### 「人の絆」を支えに

秋田市立桜小学校  
教頭 児玉 公生

今年度、創立42周年を迎えた本校は、県内最多788名の子どもが在籍しています。学校教育目標は、「共に高め合い、力強く未来を拓く子どもの育成」です。本校の取組の中から、家庭や地域との連携によって、子どもたちが「人の絆」のすばらしさを実感することのできる代表的なものを3つ紹介します。

一つ目は、地域の方を指導者とした学習活動です。2年生生活科「野菜の苗植え」、3年生総合的な学習の時間「地域の先生の講演」、5、6年生音楽科「合唱教室」など、各教科・領域にわたってご指導をいただいております。子どもたちも、この機会をとっても楽しみにしています。更に、保護者ともOBの方々の読み聞かせ団体「さくらんぼクラブ」の皆様から、年10回のお話の会を開いていただいております。

二つ目は、夏季休業中の「桜オープンスクール」です。地域の方を講師とした、獣医教室、カメラ体験、自然触れ合い体験などのメニューの中から子どもが希望して参加するものがあります。活動を通して「人の絆」が深まるだけでなく、子どもたちのキャリア育成にもつながっています。

三つ目は、保護者や地域の方の「見守り活動」です。本校の学区はとも広く、交通量も多い地域です。しかし、子ども守り隊と保護者の700名を超える方が活躍しています。子どもたちが安全に登校することができ、子どもたちが「人・人の絆」のすばらしさを実感し、安心して力強く未来を拓いていくことができるよう、家庭や地域の方々との連携を深めていきたいと思います。





### 生徒の人間の成長を願って

秋田市立御野場中学校

教頭 伊藤 明宏

本校の特色ある健全育成活動は、日々の学校生活全てです。本校の生徒指導は、生徒が人間的に成長できるような支援をすることを基本姿勢とし、可能な限り生徒の近くで時を共にし、あらゆる機会に生徒指導を機能させるよう全職員が努めてきました。そのため、客観的な事実をもとに、生徒の言動の要因や内面的な変化を捉えながら、個に応じ、適切に支援をするよう心がけています。先入観を捨て、生徒の心の動きを、生徒の身になって考え、この生徒の成長のために、どのような支援や指導が必要なのかを組織的に検討したうえで、支援や指導を行っています。

実際の取組としては、本校の生徒の課題である、集団の中で、自分の考えや思いを表現したり、周囲に流されず、自分の意志で行動したりできる「たくましさ」を醸成するため、相手の立場になって考える他者を意識を育てるための取組や、いじめの構造を学んだ上で、「なぜ、いじめはなくならないか」を、学年が輪になって討論する機会を通し、いじめを生徒自身がなくしていくとすると心の成長をねらった集会などに取り組んできました。

また、生徒の成長のためには、保護者や地域と信頼関係を築いていくことが欠かせません。「親として」「地域住民として」の思いを大切にしながら、生徒のよりよい成長を願う同じ主体と意識してもらえらるよう、組織的な対応を心掛けていきます。

昨年創立40周年式典を終え、本校は新たなスタートを切りました。生徒、保護者、地域、学校が一体となって、新たな歴史を刻んでいくことができよう努めていきたいと思えます。



### 地域と共につくる 安全・安心な学校生活

秋田県立秋田中央高等学校

教諭 勝田 慎

今年度学校創立105年を迎えた本校は、人格の完成を目指し、自主性と友愛の心を重んじ、理想を掲げて躍進を図る生徒の育成を教育目標としております。スーパースাইエンスハイスクールとしても3期目の指定を受け、学業と部活動の両立を目指し、生徒一人一人が主体的な活動により活発な学校生活を送っています。

4月には秋田臨港警察署より「自転車安全利用モデル校」に指定され、これまで様々な活動を実施してきました。5月には、自転車乗車時のヘルメットの着用率向上を目指す意見交換会を、交通安全委員、生徒会役員、臨港署員の方々と実施しました。9月には、交通安全委員長と副委員長が一日警察署長の任命を受け、通学路の安全パトロールや交通安全啓発活動を行いました。

生徒会役員も10月に生活安全キャンペーンの一環として、土崎駅周辺においてチラシの配布と、様々な犯罪の予防を訴えました。

学校周辺には幹線道路もあり、交通量が非常に多い立地条件のため、地域の方々から交通マナーについて厳しいご指摘を頂戴することもありますが、

生徒会をはじめとする委員会活動等をより活性化し、生徒と職員が協力し合いながら、地域の方々と一体になって、安全・安心な生活を築けるように努めていきたいと考えております。



### 読み聞かせが育む、地域とのつながり

秋田県立秋田中央高等学校

学校司書 川口 愛

本校の図書委員会では、校舎のすぐそばにある認定こども園で、絵本の読み聞かせ活動に取り組んでいます。以前は年に一度の特別な活動でしたが、「もつと子どもたちと関わりたい」という生徒の声を受け、今年度から月2回の定期的な活動へと発展しました。

訪問では園児の年齢や季節、行事などを考慮しながら生徒自身が絵本を選びます。回を重ねるごとに、園児の反応に合わせて声のトーンや身振りを工夫できるようにになり、読み手として「伝える」表現力が豊かになってきました。

図書委員以外の有志の生徒の参加も多く、運動部の生徒が部活動の合間に訪問する姿も見られます。一度経験すると、「また行きたい」と継続して関わる生徒が多いのも特徴です。

以前は近隣にありながら、園の避難訓練で校舎の敷地を貸す程度だった交流が、お互いに顔の見える、地域とのつながりを実感できる関係へと発展しました。園児たちは高校生が来てくれるたびに歓声を上げる姿は生徒たちの大きな励みになっています。また、生徒にとって「読む側」に立つことは、かつて「読んでもらう側」だった幼い頃の自分を思い出し、「読むこと」「伝えること」の原点を見つめ直す機会にもなっています。

絵本を通して、高校生と地域が共に学び、成長し合う関係が着実に育まれています。



「優しさは想像力」

秋田市少年指導センター

所長 加藤 斉



「青春って、すごく密なので」「人生は敗者復活戦」など、様々な名言を残してきた仙台育英高校硬式野球部須江航監督の言葉には、いつも惹きつけられます。

一昨年、須江監督さんの講演会に参加した際、お話の中で一番心に響いたのが「優しさは想像力」という言葉でした。相手と接した際には、今、相手が何を考え感じているのか相手の立場に立って、想像力を働かせるという優しさが大切であること。また、相手に伝わる言葉とは、相手の立場に立って考えた言葉であり、聞くことからしか探せないということ。

日々の生活の中で、なかなかできることではありませんが、この言葉を心の片隅にとめておき、相手との会話では実践していきたいと思えました。

今年度も少年指導委員の皆様は活動におかれましては、多くの子どもたちに、優しくあたたかい声かけをしていただきました。

今後、少年指導委員の皆様方ははじめ、関係機関とも連携を図りながら、青少年の健全育成と非行防止活動に取り組んでまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

市の記念日式典における一般表彰

7月11日(金)に、あきた芸術劇場ミルハスにおいて、市の記念日式典が開催され、秋田市長から、永年にわたり秋田市少年指導センター少年指導員としてご尽力いただいた3名の方々に表彰状が贈呈されました。

- (中央第二) 半田 弘子
- (土崎地区) 船木ひとみ
- (北部地区) 奈良 美可

巡回日誌より

●巡回途中から雨がパラパラと降り始めましたが、公園内は小学生未満のお子さんを連れていらっしゃるお母さんやグループで飲食を楽しんでいる学生が多く見られました。他グループと交流する動きもなく、指導しなければいけない生徒はいませんでした。こちらからの声かけに対してあいさつを返してくれる高校生が多く、時折、笑い声が上がると楽しい雰囲気での巡回となりました。

(中央第一・4月17日・千秋公園観桜会)

●フォントの階段の非常口付近には誰もいませんでした。アルヴェー1階ホールのテーブルには高校生がたくさんいました。特に問題がある子はいませんでした。勉強をしている子が多く感じました。

(定例巡回・6月9日・秋田駅前周辺)

令和7年度のあゆみ

- 4月・特別巡回(観桜会)
- 5月・第1回地区少年指導委員会代  
表者会議
- 6月・第1回少年指導センター運  
営協議会
- 7月・第75回社会を明るくする運  
動キャンペーン
- 7月・青少年の被害・非行防止全  
国強調月間
- 特別巡回(土崎港曳山まつ  
り、セリオン花火大会)
- 8月・特別巡回(竿燈まつり、雄  
物川花火大会)
- 10月・第1回広報部会
- 10月・青少年育成団体情報交換  
会
- 11月・秋のこどもまんなか月間キ  
ャンペーン
- 少年指導委員研修会
- 12月・第2回広報部会
- 特別巡回(年末)
- 1月・第2回地区少年指導委員会  
代  
表者会議
- 2月・第2回少年指導センター運  
営  
協議会
- 広報紙「わかくさ」22号発行
- 通年・定例巡回(月3回)
- 地区巡回(随時)

少年相談受理状況

12月末までの相談件数は50件で、小学生が1件、中学生が3件、高校生が9件、有職・無職青年が37件となっています。

本人からの相談が34件で、母親や祖母等、本人以外からの相談が16件でした。相談の内容は、仕事や人間関係のこと、学校でのトラブルや学校生活、進路について、不登校、家庭生活や子どもの放課後の生活についてなどでした。

わかくさ相談電話

青少年に関する相談電話

来所相談可能

相談員が対応します

☎ 018-884-3368

受付時間

月 10:00~12:00 13:00~16:00

火~金 9:00~12:00 13:00~16:00

秋田市少年指導センター

※ R7年度SNS投稿画面

編集後記

わかくさ22号発行にあたり、原稿を寄せてくださった皆様は心より御礼申し上げます。今年の漢字「熊」。私たちの生活にも深刻な影響を及ぼしました。(臨時休校、秋田の送迎大変でしたね)。健やかに伸びたいと思います。

広報部員一同

わかくさネット配信中!

少年指導センターのホームページでわかくさネットを配信しています。



いつでも読むことができます。ぜひ検索してみてください。

検索 秋田市少年指導センター